

平成 22 年度 事務事業事後評価調書 (平成 21 年度事業)

整理番号 4 - 21

1 事務事業の表示

: 該当

事務事業名		自治会運営補助事業					
評価者	担当課名	住民生活課		担当係名	住民活動係		
	管理職	職名	課長	作成者	職名	係長	
	氏名	渡邊孝司			氏名	石山英伸	
事業の概要	各自治会の街灯施設の維持・補修を図るため、電気料金相当額、修繕経費、新設経費に対して補助を行っている。				全体計画 / 単年度繰返 (平成 20 年度 ~ 24 年度)		
	事業費	国・道支出金			千円		
		地方債			千円		
		その他			千円		
		一般財源			26,507 千円		
事業費計			26,507 千円				
実施方法	直営			民間委託			その他 ()
第 5 期 総合計画 (前期)		登載事業		非登載事業	優先度	B	
事業の位置付け	政策目標	5	ささえあい・雄武 ~ 協働によるまちづくりの推進				
	基本施策	22	住民主体のまちづくりの推進				
	単位施策	1	地域づくり活動の促進				
	事務事業の種類	自治事務		法定受託事務			
	その他計画・根拠等						
事業費	実施年度	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (計画)	24年度 (計画)	
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円	
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円	
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円	
	雄武町負担額 (一般財源)	4,625 千円	5,506 千円	5,500 千円	5,500 千円	5,500 千円	
	合計	4,625 千円	5,506 千円	5,500 千円	5,500 千円	5,500 千円	

721

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標 (目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	住宅地が郊外へ広がっていくことにより、街灯の無い地区が発生して防犯上の問題が危惧されている	補助対象自治会数、一世帯当たり運営費補助金			
		指標 (指標計算式 / 解説)	目標値及び実績値		
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	ある程度の戸数がある住宅地においては街灯を設置し、防犯に努める	補助金交付自治会数 / 街灯が設置されている自治会数	目標年度	平成21年度	
			目標値	29 団体	
			実績値	26 団体	
			達成度	89.7 %	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 成果 = 目的	地域環境を向上させ、犯罪の発生を防止する	一世帯当たり運営費補助金	目標年度	平成21年度	
			目標値	2.4 千円	
			実績値	2.8 千円	
			達成度	116.7 %	
内 容 (どのような手段で何を行ったか)					
街灯電気料相当額の補助	各自治会で支払っている街灯電気料相当額を補助金として交付。				
街灯修繕料への補助	各自治会で街灯の修繕に要した経費に対して補助金を交付。(全自治会分として150千円を全経費で按分し交付)				

3 事務事業の評価(Check)

(1) 事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか、当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要 / 概ね必要 / 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	防犯上の観点から、安全で暮らしやすい地域づくりの一環として必要な事業である。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2) 事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効 / 概ね有効 / 課題あり	設定した目標値の達成状況	当事業により、3自治会が街灯新設、10自治会が街灯補修を行い、地域の防犯環境が保持されている。
	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3) 事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

概ね効率的 効率的 / 概ね効率的 / 課題あり	判断の理由	この事務事業の大部分は街灯電気料相当額の補助であり、電気料金の値上がりは事業費へ大きく反映されるため、事業費の抑制は困難であるが、地域の防犯環境は保持された。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

(4) 事務事業の公平性

公平 公平 / 概ね公平 / 公平でない	判断の理由	街灯の新設及び補修については自治会の負担があり、電気料については全額補助するため、公平性は保たれている。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

4 総合評価(A~D)

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B: ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
地域の防犯環境を維持・向上するためには継続的な支援が必要であり、今後も計画どおり事業を進めることが適当である。		

今後の展開方向
(Action)

継続 / 現状維持		
引き続き街灯の電気料相当額、修繕経、新設経費に対する補助を行うものとするが、事業をより一層効果的なものとするため、不要となった街灯の地域内移設を推進する。		

* 展開方向の区分

継続 / 現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 終了 休止 廃止

5 その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--